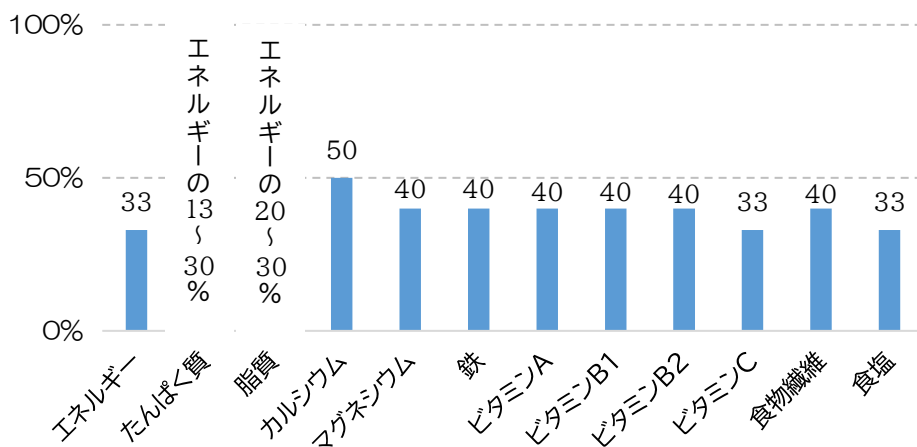


ご入学・ご進級おめでとうございます。中学生にとっての食事は、成長期の身体を支える非常に重要な要素です。また、食事を選ぶ力を養い、食の自立に向けて必要な知識とスキルを身に付け、社会に出るための準備をする期間でもあります。このようなサポートができるよう、給食室と協力し、力を合わせて努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## 学校給食法と給食の目標栄養量

1日に必要な栄養量を100%  
とした場合の学校給食の割合



日本には「学校給食法」という法律があります。学校給食の制度がある諸外国はいくつかありますが、法律として細かく定めているのは日本ぐらいしかありません。

学校給食法の第一条（目的）には、「学校給食が児童及び生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たすものであること」と記されています。この目的を達成するために一部の栄養素においては、学校給食1回の食事で1日に必要な量の3分の1ではなく40%や50%を摂れるようにと工夫して献立作成をしています（上記図参照）。このため、豆類など家庭ではあまり食べない食材が多く使われることがあります。学校給食の献立作成には、このような背景があることをご理解ください。

### 給食の時間は

単にお昼の食事をする時間ではなく、学級のお友だちと協力し合っ  
て、盛り付けや配ぜん、後片付けを  
行います。「食育の授業時間」とし  
て、栄養教諭が考えた献立を通し  
て、健康的な食事や地産地消、食文  
化などについて学び、教科等での  
学習も深めていきます。



### ご家庭でも

食器やはしを並べる。食べ終わっ  
た食器を片付けるなどの簡単なお  
手伝いができるとう給食当番の練習  
にもなりますね。また食卓を囲ん  
で、ぜひ給食のことを話題にし  
てください。買い物にはぜひ一緒  
に行って、食材を選ぶ際の視点など  
たくさん話してあげてください。

給食費の引き落としは、 $6,050\text{円} - 1,350\text{円} = 4,700\text{円/月}$  となっています。  
 (本来の額) (補助金) (保護者負担額)  
 引き落としのご協力をお願いいたします。